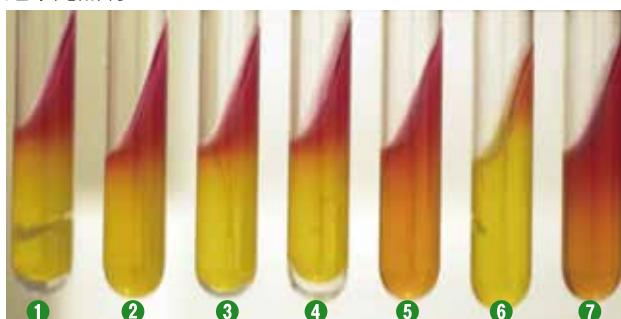


# 極東 CLIG寒天生培地

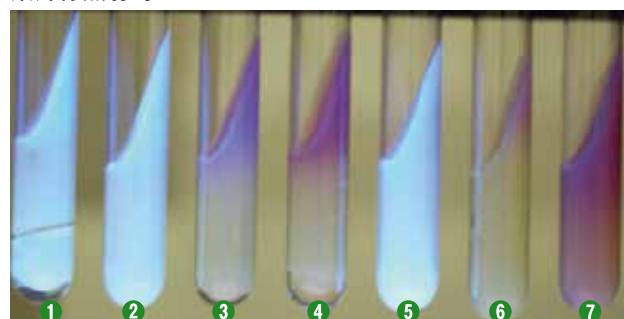
本培地は、衛生試験法・注解2020、厚生労働省通知食安監発1120第1号「腸管出血性大腸菌O26、O103、O111、O121、O145及びO157の検査法について」(2014)に収載された培地です。複数の腸内細菌確認用培地を必要とせず、*Escherichia coli*の確認および、腸管出血性大腸菌(Enterohemorrhagic *E. coli*: EHEC) O157の鑑別が可能です。

高層部にて乳糖、斜面部にてセロビオースからの酸産生が確認できます。また、365 nmの紫外線を照射し、腸管出血性大腸菌O157との鑑別を行います。通常の*E. coli*は、MUG(4-メチルウンベリフェリル-β-D-グルクロニド)を加水分解するβ-グルクロニダーゼ陽性のため、紫外線照射下で青色蛍光を示しますが、腸管出血性大腸菌O157はβ-グルクロニダーゼ陰性のため、青色蛍光を示しません。

通常光照明



紫外線照射時



35°C, 24時間, 好気培養

&lt;左から&gt;

- |                                |                                |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ① <i>Escherichia coli</i>      | ② <i>Escherichia coli</i> O26  | ③ <i>Escherichia coli</i> O111 | ④ <i>Escherichia coli</i> O157 |
| ⑤ <i>Escherichia coli</i> O121 | ⑥ <i>Escherichia hermannii</i> | ⑦ <i>Proteus mirabilis</i>     |                                |

## 培地組成 (1,000 mL 当たり)

カゼインペプトン	7.5 g	乳糖	1.0 g
肉ペプトン	2.5 g	セロビオース	10.0 g
塩化ナトリウム	5.0 g	MUG	0.02 g
トリプトファン	0.1 g	寒天	14.9 g
フェノールレッド	0.025 g		pH 7.4±0.1

※典型的な組成を示しています。

製品コード

50本 (統一商品コード No. 551-07521-2)

有効期間

6ヶ月



極東製薬工業株式会社

## 用法

分離したコロニーを白金線で本培地の高層部に穿刺、斜面部に画線し、35~37°Cで18~24時間、好気条件下にて培養<sup>\*</sup>します。培養後は、高層部、斜面部の色調を確認します。酸の産生が陽性ならば、培地色調は黄変します。次に、365 nm 紫外線照射下で青色蛍光の有無を確認します。また、斜面部に発育した菌を用いて、インドールスポットテスト<sup>1)</sup>やチトクロームオキシダーゼテスト<sup>2)</sup>等の実施も可能です。

<sup>\*</sup>培養時は密栓状態にしないでください。

1) スポットインドール試薬を自家調製する場合は、濃塩酸 2 mL と精製水 18 mL を混合したのち、パラジメチルアミノシンナムアルデヒド 0.2 g を加えて溶解します。

2) チトクロームオキシダーゼテスト：オキシダーゼ綿棒等により実施します。

## 判定

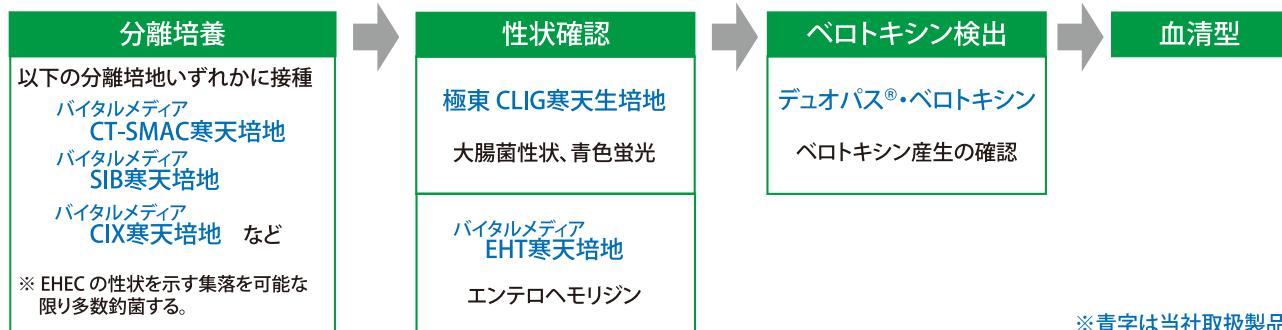
		EHEC O157:H7/-	通常の <i>E. coli</i>	<i>E. hermannii</i>
酸產生	乳糖（高層部）	+	+	+
	セロビオース（斜面部） <sup>*1</sup>	-	-	+
	β-グルクロニダーゼ（MUG） <sup>*2</sup>	-	+	-
	インドール产生 <sup>*3</sup>	+	+	+
	チトクロームオキシダーゼ	-	-	-

\* 1 : 抗O157血清に交差反応を示す*E. hermannii* の鑑別除外に有用です。

\* 2 : 365 nm の紫外線照射による

\* 3 : インドールスポットテストによる

## 使用例（EHEC O157:H7/-の培養検査フロー）



## 使用上および取扱い上の注意 ※以下の注意をよく読んでからご使用ください

- 微生物の取扱いに習熟した人の指導の下に、バイオハザード対策を実施した上で使用してください。
- 試験管に破損が認められるものは使用しないでください。
- 有効期限切れの製品は使用しないでください。
- 培地の保存は必ず冷暗所（2 ~ 10°C）で、凍結ならびに乾燥しないようにしてください。
- 冷蔵庫からの頻回な出し入れは性能の劣化を招きますので、極力お避けください。
- 本培地を使用する場合は、室温に戻してからご使用ください。
- 使用済みの培地は 121°C、30 分以上高圧蒸気滅菌を行い、速やかに廃棄してください。
- 廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。

お問い合わせ先

 極東製薬工業株式会社

本社 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 7-8  
TEL : 03-5645-5664 FAX : 03-5645-5703  
<https://www.kyokutoseiyaku.co.jp/>